

チャバネアオカメムシの天敵マルボシヒラタヤドリバエの産卵数と寿命					
[要約] <u>チャバネアオカメムシの成虫に寄生するマルボシヒラタヤドリバエの総産卵数</u> は約81卵である。産卵は羽化翌日から始まり12日目までの <u>日当たり産卵数</u> は約8卵で、その後は減少する。雌成虫の <u>寿命</u> は約13日である。					
担当部署	生産環境研究所・病害虫部・果樹病害虫研究室			連絡先	092-924-2938
対象作目	果 樹	専門項目	病害虫	成果分類	生理生態

[背景・ねらい]

果樹を加害するチャバネアオカメムシの成虫に寄生するマルボシヒラタヤドリバエ（旧名、マルボシハナバエ）の天敵としての有効性を評価するため、成虫の寿命と産卵数を明らかにし、本種を利用したカメムシ防除法の開発を目指した基礎的な資料を得る。

[成果の内容・特徴]

1. マルボシヒラタヤドリバエ雌成虫は羽化直後に交尾し、羽化翌日から死亡前日まで産卵を続ける（図1）。
2. 本種の総産卵数は約81卵で、羽化後12日目までは日当たり約8卵、それ以降は約4卵を産下する（図1、表1）。
3. 未交尾雌は寄主を与えると産卵するが、産下卵はふ化しない（表1）。
4. 交尾および産卵の有無にかかわらず雌成虫の寿命は約13日である（表1）。

[成果の活用面・留意点]

1. マルボシヒラタヤドリバエの天敵としての有効性を評価する指標として活用できる。
2. 室内飼育体系構築の基礎資料として活用できる。

[具体的データ]

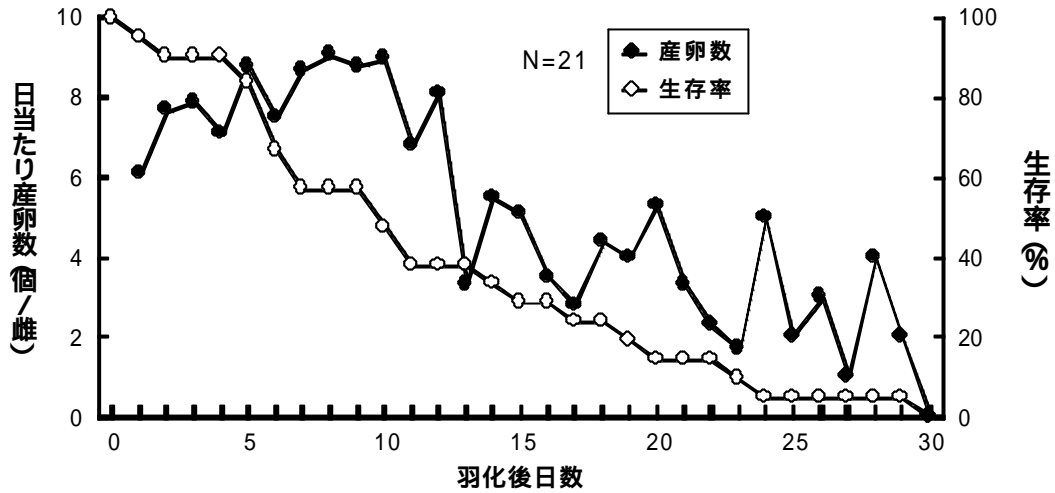


図1 マルボシヒラタヤドリバエ雌成虫の産卵消長と生存曲線

表1 マルボシヒラタヤドリバエの産卵数、寿命に及ぼす経産、交尾の影響

寄生バエの性	N	交尾の有無	寄主	産卵数	ふ化率 (%)	生存日数
雌	21	交尾	有	80.7 ± 58.2	85.5	11.9 ± 7.8 a
雌	13 ^{b)}	未交尾	有	4.3 ± 8.1	0	8.2 ± 6.2 a
雌	20	未交尾	無	-	-	12.5 ± 10.7 a
雄	35	未交尾	無	-	-	29.9 ± 19.1 b

注) 1. 異なる文字間には5%レベルで有意差あり。

2. 産卵調査個体数は 8頭。

3. 産卵数、生存日数は平均値 ± S.D

[その他]

研究課題名：天敵昆虫類の特性評価と利用技術

予算区分：国庫（指定試験）

研究期間：平成12年度（平成11～12年）

研究担当者：山中正博、堤 隆文

発表論文等：平成12年度生産環境研究所病害虫部果樹病害虫関係試験成績概要書